

教科名	数学	科目名	数学Ⅰ	単位数	3単位
学年	第1学年		男子 7名	女子 6名	計 12名
教科担任氏名	麻生靖之		使用教科書	新高校の数学Ⅰ（数研出版）	
科目の目標	数と式、二次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

評価の観点	趣 旨	配 分
関心・意欲・態度	数と式、二次関数の考え方に関心を持つとともに、数学の良さを認識し、それらの事象を考察し活用しようとする。	20%
思考・判断	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通じて、数と式、二次関数における数学的な見方や考え方を身に付けている。	20%
技能・表現	数と式、二次関数において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	30%
知識・理解	数と式、二次関数における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	30%

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	思・判	技・表	知・理	評価方法
4月	8h	オリエンテーション 小学校・中学校の復習	○		○	○	
5月	10h	四則演算：整数 分数 累乗 平方根	○		○	○	観察 チェック
6月	13h	整式の計算 展開 因数分解 第1章 数と式 第1節 数と式の計算					課題プリント ノートプリント
7月	7h	1. 計算の基本 2. 単項式と多項式 3. 多項式の加法と減法 4. 多項式の乗法	○ ○ ○		○ ○ ○	○ ○	週末課題 定期考査
8月	5h	5. 展開の公式 6. 因数分解	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
9月	10h	7. 展開、因数分解の工夫 8. 根号を含む式の工夫 9. 実数 第2節 1次不等式		○	○	○ ○	

10 月	1 1 h	1. 1 次方程式 2. 不等式 3. 不等式の解	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	
		第 2 章 2 次関数					
		第 1 節 2 次関数のグラフ					
		1. 関数	○		○		
		2. 1 次関数のグラフ		○	○		
11 月	1 2 h	3. 2 次関数のグラフ (1)		○	○	○	
		4. 2 次関数のグラフ (2)				○	
12 月	8 h	第 2 節 2 次関数の値の変化					
		1. 2 次関数の最大値, 最小値		○	○	○	
1 月	6 h	2. グラフと 2 次方程式	○	○	○	○	
		3. グラフと 2 次不等式	○	○	○	○	
2 月	8 h						
		1 年間の総復習	○	○	○	○	
3 月	7 h						